

医療技術の評価・再評価について

平成20年1月23日
診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会
分科会長 吉田 英機

中医協基本問題小委員会において、昨年2月に診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において学会から提出される医療技術評価提案書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を実施することとされたところである。今般、医療技術の評価・再評価について最終的な検討結果を取りまとめたことから、当分科会における評価結果を報告するものである。

1 医療技術の評価・再評価に係る実施方法

- (1) 医療技術の適正な評価の観点から、医療技術評価分科会において学会等から提出される医療技術評価希望書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を1次評価及び2次評価の2段階とし、保険診療に精通した医学、歯学、薬学、看護学等の有識者で構成される以下の6分野のワーキンググループを設置し評価を行った。具体的には、昨年3月から昨年6月にかけて、関係学会から提出のあった医療技術の評価・再評価に係る提案書を評価の対象とした。

WG1：眼科、耳鼻咽喉科、歯科系、皮膚・皮下組織

WG2：循環器系、救急、麻酔、放射線

WG3：消化器、肝臓・胆道・膵臓、乳腺、呼吸器

WG4：泌尿器・男性生殖器、産婦人科・女性生殖器、新生児・小児

WG5：内分泌・栄養・代謝、血液・造血器・免疫臓器、調剤、看護

WG6：精神、神経、筋骨格、その他

- (2) 1次評価において引き続き検討することが適当とされた医療技術について、医療技術評価分科会において分野横断的なより幅広い観点から2次評価を行った。

2 医療技術の評価結果

【1次評価結果】

項目		件数
医療技術評価・再評価提案件数		681件 (重複分をカウントすると 812件)
1 次 評 価 結 果	① 1次評価において引き続き検討 することが適当とされた技術	233件
	② その他の技術	345件
	③ 基本診療料、指導管理等、在宅医 療に係る技術	103件

【2次評価結果】

項目	件数
① 保険適用する優先度が高いと考えられる 新規技術（別紙1）	42件
② その他の新規技術（別紙2）	69件
③ 再評価する優先度が高いと考えられる既 存技術(※)（別紙3）	62件
④ その他の既存技術（別紙4）	55件
⑤ 先進医療専門家会議において保険導入等 について議論する医療技術（別紙5）	5件
合 計	233件

(※)再評価の中には、増点、減点、廃止、要件の見直しが含まれる。

医療技術の評価・再評価について(概要)

【 1次評価 】

【 2次評価 】

